

医療関係者各位

「ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注 40mg/1mL」および
 「ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL」
 の今後の供給予定についてのご案内

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は弊社製品に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社が製造販売する合成副腎皮質ホルモン剤トリアムシノロンアセトニド水性懸濁注射液「ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注 40mg/1mL」および「ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL」（以下「両製品」）につきましては新製造ラインの適格性評価に関連した調査対応の長期化により、出荷を限定することを余儀なくされる事態となり、医療関係者の皆様、患者様に多大なご迷惑をおかけしていることを深くお詫び申し上げます。

このたび、暫定的な措置として、旧製造ラインを用いて製造を行い、10月より段階的に出荷量を増加する手立てを講じることいたしました。しかしながら、当面は通常出荷量の半量程度の限定出荷を継続させていただきますことをご案内申し上げます。通常出荷再開に向けては、今後改めて新製造ラインにて適格性評価を行い、同ラインを用いて製造再開することとなります。時期につきましては判明次第改めてご案内いたします。

両製品の供給におきましては、引き続き、医療関係者の皆様に多大なご負担をおかけすることとなります。何卒事情をご賢察の上、引き続きご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

【対象製品】

販売名	包装	統一商品コード	出荷量の状況*	対応状況*
ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注 40mg/1mL	10 バイアル	279-11523-8	B.出荷量減少	②限定出荷 (自社の事情)
ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL	5 バイアル	279-11503-0	B.出荷量減少	②限定出荷 (自社の事情)

* 日薬連発第137号（2023年3月1日付）『「医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義」の見直しについて』に基づき出荷状況・対応状況を表記しております。

以上

両製品の有効成分であるトリアムシノロンと同一成分・同一效能効果を有する注射剤はございませんが、【別紙】に力価換算と両製品と他のステロイド注射剤の效能・効果の一覧をお示しします。效能又は効果、用法及び用量が両製剤と異なりますので、各製品の添付文書をご確認の上、個々の患者様の病態および状態像に基づき、效能又は効果、用法及び用量の範囲内でご使用をご検討ください。

こちらの資料は、弊社医療従事者向けWebサイト（<https://www.bmshealthcare.jp/>）からもご確認いただけます。ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注 40mg/1mL 並びにケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL の代替の了承は得られておりませんので、供給状況につきましては、各製造販売会社にご確認ください。なお、他剤副腎皮質ホルモン製剤の供給も限られていることから関係特約店様ともご相談の上、代替治療をご検討頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ先】

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 メディカル情報グループ

TEL 0120-093-507

別紙：

代表的なコルチコステロイドの相対的効力と等価用量

コルチコステロイド	糖質コルチコイド作用	鉱質コルチコイド作用	作用時間 ^a	等価用量 (mg) ^b
ヒドロコルチゾン ^c	1	1	S	20
コルチゾン	0.8	0.8	S	25
フルドロコルチゾン	10	125	I	— ^d
プレドニゾン	4	0.8	I	5
プレドニゾロン	4	0.8	I	5
メチルプレドニゾロン	5	0.5	I	4
トリアムシノロン	5	0	I	4
ベタメタゾン	25	0	L	0.75
デキサメタゾン	25	0	L	0.75

^a 生物学的 $t_{1/2}$: S, 短時間型 (8–12 h); I, 中間型 (12–36 h); L, 長時間型 (36–72 h).

^b 用量の関係は経口または静脈内投与にのみ適用され、筋肉内投与や関節内投与では効力が大きく異なる場合があります。

^c 薬として使用されるときのコルチゾールの名称

^d この薬剤は、糖質コルチコイド効果ではなく、鉱質コルチコイド効果を目的として使用されます。

Used with permission of McGraw Hill LLC., from Goodman & Gilman's: The Pharmacological Basis of Therapeutics, Brunton Lawrence; Knollmann Bjorn, 14th Edition and 2022 of copyright; permission conveyed through Copyright Clearance Center, Inc.

出典) Goodman & Gilman's: The Pharmacological Basis of Therapeutics, 14th Edition.

Chapter 50: Adrenocortotropic Hormone, Adrenal Steroids, and the Adrenal Cortex (TABLE 50-2) を転載

注) 弊社翻訳

効能又は効果、用法及び用量が「ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注 40mg/1mL」および「ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL」と異なりますので、各製品の添付文書をご確認の上、個々の患者様の病態および状態像に基づき、効能又は効果、用法及び用量の範囲内でご使用をご検討ください。

＜参考：ケナコルト-A筋注用関節腔内用水懸注40mg/1mLと他の副腎皮質ホルモン注射剤（静注除く）の効能・効果の一覧＞

	効能又は効果	投与経路	ケナコルト-A 皮内用関節腔内用 水懸注50mg/5mL	ベタメタゾン酢酸エステル・ベタメタゾンリン酸エチルナトリウム懸濁注射液	メチル プレドニゾロン 酢酸エチル懸濁注射液	デキサメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液①	デキサメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液②	デキサメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液③	ベタメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液①	ベタメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液②	ベタメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液③	注射用 プレドニゾロン コハク酸エチルナトリウム	ヒドロコルチゾン コハク酸エチルナトリウム注射用
内分泌疾患	慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）	筋肉内注射	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	*副腎器症候群	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	*亜急性甲状腺炎	筋肉内注射	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
	*甲状腺中毒症（甲状腺（中毒性）クリーゼ）	筋肉内注射	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
リウマチ性疾患 整形外科疾患	*特発性低血糖症	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	関節リウマチ	筋肉内注射、関節腔内注射	○関節腔内注射のみ	○関節腔内注射のみ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	若年性関節リウマチ（スチル病を含む）	筋肉内注射、関節腔内注射	○関節腔内注射のみ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
膠原病	リウマチ性多発筋痛	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎	関節腔内注射	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
腎疾患	全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	多発性筋炎（皮膚筋炎）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	*強皮症	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	*エクローゼ及びネクローゼ症候群	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
心疾患	心疾患	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	*うっ血性心不全	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	*重症感染症（化学療法と併用する）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	*溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
血液疾患	*白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リバ性白血病）（皮膚白血病を含む）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	*顆粒球減少症（本態性、続発性）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	*紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	*再生不良性貧血	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
消化器疾患	*凝固因子の障害による出血性素因	筋肉内注射	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
	*局限性腸炎	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	*潰瘍性大腸炎	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	*重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプレーを含む）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
肝疾患	*肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁う滯を伴うもの）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	*脛脊膜炎（脛膜炎、脊膜炎を含む）（但し、一次性脛膜炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	*末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）	筋肉内注射	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	*重症筋無力症	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神経疾患	*多発性硬化症（視乳頭脳膜炎を含む）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	*小舞蹈病	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	*顔面神経麻痺	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	*脊髄網膜炎	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
悪性腫瘍	*悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網内腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	*好酸性肉芽腫	筋肉内注射	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	*乳癌の再発転移	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	*副腎摘除	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科疾患	*脳器・組織移植	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	*副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	*蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	*卵管整形術後の帝王切開	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
産婦人科疾患	*前立腺癌（他の療法が無効の場合）	筋肉内注射	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
泌尿器科疾患													

*印 経口投与不能時にのみ用いること

★印 外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること

<参考：ケナコルト-A筋注用関節腔内用水懸注40mg/1mLと他の副腎皮質ホルモン注射剤（静注除く）の効能・効果の一覧>

	効能又は効果	投与経路	ケナコルト-A 皮内用関節腔内用 水懸注50mg/5mL	ベタメタゾン酢酸エステル・ベタメタゾンリン酸エチルナトリウム懸濁注射液	メチル プレドニゾロン 酢酸エチル懸濁注射液	デキサメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液①	デキサメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液②	デキサメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液③	ベタメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液①	ベタメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液②	ベタメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液③	注射用 プレドニゾロン コハク酸エチルナトリウム	ヒドロコルチゾン コハク酸エチルナトリウム注射用
皮膚疾患	★★湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神經皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）	筋肉内注射	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o
	★★痒疹群（小児ストロフルス、荨麻疹様苔癬、固定荨麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定荨麻疹は局注が望ましい）	筋肉内注射	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	x
	*尋麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）	筋肉内注射	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o
	★★乾癬及び類症（尋常性乾癬（重症例）、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿瘍性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、癌瘍状膿瘍症、ライター症候群）	筋肉内注射	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o
	★★掌蹠膿瘍症（重症例に限る）	筋肉内注射	x	x	x	o	o	o	x	o	x	x	x
	★★扁平苔癬（重症例に限る）	筋肉内注射	x	x	x	o	o	o	x	x	x	x	x
	*成年性浮腫性硬化症	筋肉内注射	x	x	o	o	o	o	x	o	o	o	x
	*紅斑症（★多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）	筋肉内注射	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o
	*粘膜皮膚眼症候群（閉口部びらん性外皮症、ステッブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェト病（眼症状のない場合）、リップシコツ急 性睑門炎）	筋肉内注射	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o
	天疱瘡群（尋常性天疱瘡、葉状天疱瘡、Senear-Usher症候群、増殖性天疱瘡）	筋肉内注射	x	x	△経口投与不能時に限 定	△経口投与不能時の制 限あり	△経口投与不能時の制 限あり	△経口投与不能時の制 限あり	△経口投与不能時に限 定	△経口投与不能時に限 定	△経口投与不能時に限 定	△経口投与不能時に限 定	△経口投与不能時に限 定
眼科疾患	*デューリング病兆症状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）	筋肉内注射	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o
	*帶状疱疹（重症例に限る）	筋肉内注射	x	x	o	o	o	o	o	o	o	x	o
	*紅皮症（ハーブラ紅色紅斑症を含む）	筋肉内注射	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o
	*内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（フトウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗端部症候群、眼筋麻痺）	筋肉内注射	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	x
	*外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）	筋肉内注射	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	x

*印 経口投与不能時にのみ用いること

★印 外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること

＜参考：ケナコルト-A筋注用関節腔内用水懸注40mg/1mLと他の副腎皮質ホルモン注射剤（静注除く）の効能・効果の一覧＞

	効能又は効果	投与経路	ケナコルト-A 皮内用関節腔内用 水懸注50mg/5mL	ベタメタゾン酢酸エステル・ベタメタゾンリン酸エチルナトリウム懸濁注射液	メチル プレドニゾロン 酢酸エチル懸濁注射液	デキサメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液①	デキサメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液②	デキサメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液③	ベタメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液①	ベタメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液②	ベタメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液③	注射用 プレドニゾロン コハク酸エチルナトリウム	ヒドロコルチゾン コハク酸エチルナトリウム
耳鼻咽喉科疾患	*急性・慢性中耳炎	筋肉内注射	X	X	X	O	O	O	O	O	O	O	O
	急性・慢性的中耳炎	中耳腔内注入	O	X	X	O	O	O	O	O	O	O	X
	*渗出性中耳炎・耳管狭窄症	筋肉内注射	X	X	X	O	O	O	O	O	O	O	X
	渗出性中耳炎・耳管狭窄症	中耳腔内注入、耳管内注入	O	X	X	O	O	O	O	O	O	O	X
	アレルギー性鼻炎	筋肉内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、鼻甲介内注射	O軟組織内注射、ネブライザー、鼻甲介内注射	O筋肉内注射、鼻腔内注入、鼻甲介内注射×ネブライザー	O	O	O	O	O	O	O	O	O
	花粉症（枯草熱）	筋肉内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、鼻甲介内注射	O軟組織内注射、ネブライザー、鼻甲介内注射	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
	副鼻腔炎・鼻茸	筋肉内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、副鼻腔内注入、鼻茸内注射	O軟組織内注射、ネブライザー、副鼻腔内注入、鼻茸内注射	X	O	O	O	O	O	O	O	O	X
	喉頭炎・喉頭浮腫	筋肉内注射、ネブライザー、喉頭・気管注入	Oネブライザー、喉頭・気管注入	X	X	O	O	O	O	O	O	O	X
	*喉頭ポリープ・結節	筋肉内注射	X	X	X	O	O	O	O	O	O	O	X
	喉頭ポリープ・結節	ネブライザー、喉頭・気管注入	O	X	X	O	O	O	O	O	O	O	X
整形外科領域	*食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後	筋肉内注射	X	X	X	(ケナコルト筋注用にあらる*の制限なし)	(ケナコルト筋注用にあらる*の制限なし)	(ケナコルト筋注用にあらる*の制限なし)	(ケナコルト筋注用にあらる*の制限なし)	(ケナコルト筋注用にあらる*の制限なし)	(ケナコルト筋注用にあらる*の制限なし)	(ケナコルト筋注用にあらる*の制限なし)	(ケナコルト筋注用にあらる*の制限なし)
	食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後	ネブライザー、食道注入	O	X	X	O	O	O	O	O	O	O	O
	耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法	筋肉内注射、軟組織内注射、ネブライザー、副鼻腔内注入、鼻甲介内注射、喉頭・気管注入、中耳腔内注入、食道注入	X	O筋肉内注射、軟組織内注射、ネブライザー、副鼻腔内注入、鼻甲介内注射、喉頭・気管注入、中耳腔内注入、食道注入×食道注入	O	O	O	O	O	O	O	O	X
	難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）	軟組織内注射	O	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
	変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）	関節腔内注射	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	X
	外傷後関節炎	関節腔内注射	O	O	O	X	X	O	O	O	O	X	X
	非感染性慢性関節炎	関節腔内注射	O	X	O	O	O	O	O	O	O	O	X
	関節周囲炎（非感染性のものに限る）	軟組織内注射、腱鞘内注射、滑液囊内注入	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	X
	腱炎（非感染性のものに限る）	軟組織内注射、腱鞘内注射	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	X
	腱鞘炎（非感染性のものに限る）	腱鞘内注射	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	X
口腔外科領域	腱周囲炎（非感染性のものに限る）	軟組織内注射、腱鞘内注射、滑液囊内注入	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	X
	滑液包炎（非感染性のものに限る）	滑液囊内注入	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	X
	口腔外科領域手術後の後療法	筋肉内注射	X	X	O	X	X	X	O	O	O	O	O
	気管支喘息（但し、筋肉内注射以外の投与法では不適当な場合に限る）	筋肉内注射	X	X	O	O	O	O	O	O	O	O	X
	ネブライザー	O	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
呼吸器疾患	*薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒性を含む）	筋肉内注射	X	X	O	O	O	O	O	O	O	O	X
	*血清病	筋肉内注射	X	X	O	O	O	O	O	O	O	O	X
	ひまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺線維症を含む）	ネブライザー	O	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O

*印 経口投与不能時にのみ用いること

★印 外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること

＜参考：ケナコルト-A皮内用関節腔内用水懸注50mg/5mLと他の副腎皮質ホルモン注射剤（静注除く）の効能・効果の一覧＞

	効能又は効果	投与経路	ケナコルト-A 筋注用関節腔内用 水懸注40mg/1mL	ベタメタゾン酢酸エステル・ベタメタゾンリン酸エチルナトリウム懸濁注射液	メチル プレドニゾロン 酢酸エチルナトリウム懸濁注射液①	デキサメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液②	デキサメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液③	ベタメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液①	ベタメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液②	ベタメタゾン リン酸エチルナトリウム注射液③	注射用 プレドニゾロン コハク酸エチルナトリウム	ヒドロコルチゾン コハク酸エチルナトリウム注射用
リウマチ性疾患 整形外科疾患	関節リウマチ 若年性関節リウマチ（スチル病を含む）	関節腔内注射	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎	関節腔内注射	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○
	★温湿・皮膚炎群（急性温湿、亜急性温湿、慢性温湿、接触皮膚炎、貨幣状温湿、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビタール苔癬、その他の神經皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門温疹、耳介及び外耳道の温疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の温疹・皮膚炎など）、（但し、重症例以外は極力投与しないこと。局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする）	局所皮内注射	X	X	○	○	○	X	X	○		X
皮膚疾患	★痒疹群（小児ストロフルス、尋麻疹様苔癬、固定尋麻疹を含む）（重症例に限る）	局所皮内注射	X	X	○ 固定尋麻疹は局注が望 ましい	○ 固定尋麻疹は局注が望 ましい	○ 固定尋麻疹は局注が望 ましい	X	X	X	○ 固定尋麻疹は局注が望 ましい	X
	★乾癥及び類症（尋常性乾癥（重症例）、乾癥性関節炎、乾癥性紅皮症、臍窓性乾癥、稽留性肢端皮膚炎、疱瘡状臍窓疹、ライター症候群）のうち尋常性乾癥	局所皮内注射	X	X	○尋常性乾癥	○尋常性乾癥のみ	○左記効能効果欄の疾 患のうち尋常性乾癥のみ	X	X	X	○尋常性乾癥	X
	★扁平苔癬（重症例に限る）	局所皮内注射	X	X	○	○	○	X	X	X	X	X
	限局性強皮症	局所皮内注射	X	X	○	X	X	X	X	X	X	X
	★円形脱毛症（悪性型に限る）	局所皮内注射	X	○	○	○	○	X	X	X	○	X
	★早期ケロイド及びケロイド防止	局所皮内注射	X	○	○	○	○	X	X	X	○	X
耳鼻咽喉科 疾患	急性・慢性中耳炎	中耳腔内注入	○	X	X	○	○	○	○	○	○	○
	渗出性中耳炎・耳管狭窄症	中耳腔内注入、耳管内注入	○	X	X	○	○	○	○	○	○	X
	アレルギー性鼻炎	ネブライザー、鼻腔内注入、鼻 甲介内注射	○軟組織内注射、ネブライ ザー、鼻甲介内注射	○鼻腔内注入、鼻甲介 内注射	○	○	○	○	○	○	○	○
	花粉症（枯草熱）	ネブライザー、鼻腔内注入、鼻 甲介内注射	○軟組織内注射、ネブライ ザー、鼻甲介内注射	X	○	○	○	○	○	○	○	○
	副鼻腔炎・鼻茸	ネブライザー、鼻腔内注入、副 鼻腔内注入、鼻茸内注入	○軟組織内注射、ネブライ ザー、副鼻腔内注入、鼻茸 内注射	X	○	○	○	○	○	○	○	X
	喉頭炎・喉頭浮腫	ネブライザー、喉頭・気管注入	○ネブライザー、喉頭・気管 注入	X	X	○	○	○	○	○	○	X
	喉頭ボリープ・結節	ネブライザー、喉頭・気管注入	○	X	X	○	○	○	○	○	○	X
	食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後） 及び食道拡張術後	ネブライザー、食道注入	○	X	X	○	○	○	○	○	○	○
	耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法	局所皮内注射、軟組織内注 射、ネブライザー、副鼻腔内注 入、鼻甲介内注射、喉頭・気管 注入、中耳腔内注入、食道注 入	○軟組織内注射、ネブライ ザー、副鼻腔内注入、鼻甲 介内注射、喉頭・気管注入、 中耳腔内注入、食道注入	X	○	○	○	○	○	○	○	X
	難治性口内炎及び舌炎 (局所療法で治癒しないもの)	軟組織内注射	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○
整形外科領域	変形性関節症（炎症症状がはつきり認められる場合）	関節腔内注射	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X
	外傷後関節炎	関節腔内注射	○	○	X	X	X	○	○	○	X	X
	非感染性慢性関節炎	関節腔内注射	○	X	○	○	○	○	○	○	○	X
	関節周囲炎（非感染性のものに限る）	軟組織内注射、腱鞘内注射、 滑液囊内注入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X
	腱炎（非感染性のものに限る）	軟組織内注射、腱鞘内注射	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X
	腱鞘炎（非感染性のものに限る）	腱鞘内注射	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X
	腱周囲炎（非感染性のものに限る）	軟組織内注射、腱鞘内注射、 滑液囊内注入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X
	滑液包炎（非感染性のものに限る）	滑液囊内注入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X
呼吸器疾患	気管支喘息	ネブライザー	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○
	ひまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺織炎を含む）	ネブライザー	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○

★印 外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること